

ハマ街ビト

PART 1

横浜には、独自のサービスや技術の強みを生かした魅力的な企業、団体が数多く存在しています。今回は、ビジネスや活動を通じて地域を盛り上げ、新たな挑戦をする“ヒト”やその取り組みにスポットを当てたインタビュー記事をお届けします。

有限会社 中村モーターサービス 代表取締役 中村 健悟さん

「車を通して、お客様の暮らしを豊かにする」を理念とする有限会社 中村モーターサービス。販売からアフターフォローまで一貫したサービスを提供し、点検や修理はもちろん、保険や名義変更などの事務手続きまで対応できる強みを持っています。今回は代表取締役の中村 健悟（なかむら・けんご）さんに、「私の人生において欠かせない野球～そこで得たもの、学びについて」をテーマにお話していただきました。



野球との出会い 甲子園を目指すまで

私は現在、かつて自らも所属していた「戸塚リトルシニア」という中学硬式野球チームでコーチをしています。当チームは1970年11月、当初はリトルリーグとして設立されました（12歳以下が対象のリトルと15歳以下が対象のシニアの二つのチームで構成。現在はシニア中心の活動を行う）。神奈川県内のリトルリーグでも2番目に長い歴史を持ち、プロ野球選手も輩出。県内外強豪高校へ進み、甲子園出場を夢見て活躍している選手も多数います。

そんな私が野球を始めたのは、小学校3年生のころ。近所の少年野球チームで汗を流し「野球って楽しいなあ」と感じながらも、「どうせやるなら上を目指したい」という想いが強くなりました。そして中学生になり、「戸塚リトルシニア」に入部。キャプテンを務め、野球漬けの毎日過ごすように！その後、野球推薦で「東海大相模高校」に入学、寮生活がスタートします。

先輩の代は、甲子園にも出場しました。もちろん私たちの代も甲子園を目標に必死に練習していましたが、残念ながらその夢は叶いませんでした。ただ、この3年間で監督や先輩に「人間育成」をしてもらったことはとても大きかったです。多少厳しさを感じる面もありましたが、そこには信頼関係があり、何より厳しさの中にも“愛”があり……人として成長することができました。

コーチとしての経験がビジネスに生きる！

社会人となった今、あの厳しくも熱い高校時代の体験は、ビジネスの現場でも大いに役立っています。仕事で少し辛いことがあっても、「高校時代を思えば乗り越えられる」というマインドで向き合える。チームで困難を乗り越えた経験が、今は大きな自信にもなっています。

あるとき高校時代の恩師から「出身チーム（戸塚リトルシニア）で、野球への情熱を子どもたちに伝える活動をしないか？コーチとして戻らないか？」とのお誘いを受け、再び野球に携わる決断をしました。

あれから24年、指導の難しさを感じながらも、子どもたちに寄り添い指導する中で、学んだり気付かされたりすることがあります。たとえば打てなかったメンバーが、努力の末に打

てるようになった。そんなうれしい場面に立ち合えることは、本当に貴重です。そして、実はそれが経営にも通じる「人を育てる」プロセスだと実感しています。

ビジネスに生かす野球の教え

さらに日々の練習では、「コミュニケーション力」や「個々の成長を見逃さない目」を養ってきました。現在、コーチとして週に4日程（土日含む）練習に参加していますが、そこで心がけているのは、「必ず全員と話すようにする」ということ。

チームには70～80人のメンバーが所属しているため、「話すこと」を意識しないかぎり皆のことを理解できない面も！中学生という多感な時期だからこそ、一人一人の一挙手一投足を見逃さず、早い段階で課題を把握し、適切にフォローすることが求められます。直接話しながら相手の表情を見ることで、各々の“変化”を感じることができるのです。

経営者として、日頃から社員やお客さまとの対話は信頼関係を築く上でも不可欠です。それぞれの人や場面に応じたコミュニケーションなど、野球での学びや経験が自然とビジネスに生きている部分はあるかもしれません。

野球を通じた「人間教育」

自分自身が野球を通して「人間育成」をしてもらったように、（少し大げさな言い方ですが）私も今、野球を通じて「人間教育」に携わっています。といっても特別なことをしているわけではなく、「時間や約束を守る」「道具を大事にする」「挨拶をする」など、ビジネスの場面でも重要な、人として当たり前のマナー、生きる上でのルールのようなものを伝えています。私たちが幼いころ、近所の面倒見のいいおばさんが、いわゆる家庭での“しつけ”のようなことを教えてくれましたよね？まさに、そんな感じです！

最近では、チームを卒業したメンバーが会いに来てくれて、仕事についての相談を受けることも増えました。今後も卒業したOBたちがいつでも帰ってこられるよう、チームを存続させてゆくことが大事だなあと！これからも日本一を目指して練習にはげみ、社会で通用する子どもたちの育成に力を注ぎたいと思っています。（取材・文／小林 真由美）



有限会社 中村モーターサービスの
HP はコチラから→